

知られざる樹木希林さんと一般の方との手紙を通じた心の交流

『樹木希林さんからの手紙』

発売前重版により10万部突破

2019年3月30日（土）全国の書店・ネット書店にて発売

2019年3月30日（土）、株式会社主婦の友社は『樹木希林さんからの手紙』を発売いたします。発売決定以降、反響が大きく、この度発売前重版を決定。10万部を突破いたしました。

実は、樹木希林さんは交流のあった一般の方に直筆の手紙を送り、それぞれの生き方を応援していました。これまで知られてきませんでしたでしたが、樹木さんが亡くなってすぐにこの事実を紹介したNHK『クローズアップ現代+』の「秘話 樹木希林さん直筆の手紙」とそれをもとにNHK長野放送局『知るしん』で放送された「拝啓、樹木希林様」の2つの番組は大きな感動を呼びました。本書は取材にあたったNHKのディレクターたちが、それぞれの方々との交流を樹木さんの手紙とともにご紹介しています。

手紙の中で、自分もいじめ、いじめられたことを率直に告白し、映画「あん」のモデルになった方をそっと訪問し、一世を風靡したCMで訪れた「比布駅」を見守り、上田市「無言館」で行われる成人式の参加者たちにも手紙を書きました。手紙は心から相手を思いやる気持ちにあふれ、樹木さんならではのウィットに富んだ言葉が並びます。なくなる1ヶ月前に書いた最後の手紙も紹介しています。

本書あとがきで『クローズアップ現代+』の編集責任者の矢島敦視さんは、「樹木希林さんの手紙を貫いていたのは人間賛歌であったのだと、今回の番組の制作中、そして放送後も折々に感じてきた。ただ単純な人間賛歌ではない、こちらの生き方を問うた上での人間賛歌である。」と述べています。樹木さんの生き様や独特のユーモアにあらためて注目が集まる今、「手紙」を送られたそれぞれの人への温かいまなざしや力強いメッセージは、悩みながらも自分らしく生きたいと願う読者の皆様にも、人生のエールとして贈られることでしょう。



<内容>

第1章 大切に続けた絆

- ・「私も人をいじめたし、いじめられたし」 いじめにあった人に宛てた手紙
- ・「わたしはこんなになっただけ」 北海道の無人駅に送った手紙
- ・「驚かせてゴメン！」 映画のモデルとなった女性への手紙
- ・講演会に宛てた挨拶がわりの直筆FAX
- ・商社の正月広告 すべての働く人に宛てた手紙

第2章 若者の未来にエール

- ・新成人に送った手紙
- ・「とにかく仕事を面白いがる」 介護の道を志す若者へ送った手紙
- ・「衣食足りて礼節を知るって言うけど」 国際看護師をめざす若者へ送った手紙
- ・「教育とは寄り添い共に育つこと」 教師をめざす若者へ送った手紙
- ・「誰かの熱い思いがあるところに関わってく それも手だわネ」 将来がはっきりしない 若者へ送った手紙
- ・「若者が欲しているのは聞いてくれる耳」 教師をめざす若者へ送った手紙
- ・「沖縄の思い」を伝えたい… 若者の熱意に応じた樹木さん

第3章 生きること 死ぬこと

- ・人生を語り合った美術館館長
- ・仕事関係者へ宛てた病床からの手紙

あとがき

- ・タイトル：樹木希林さんからの手紙
- ・著者：NHK『クローズアップ現代+』＋『知るしん』制作班
- ・定価：本体1300円＋税 判型：A5変 ページ数：158ページ
- ・ISBN：978-4-07-437323-9

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社主婦の友社 企画プロモーションユニット

TEL:03-5280-7577 pr@shufutomo.com